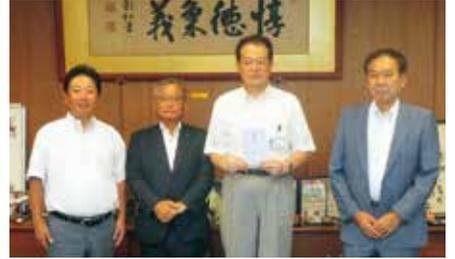


義援金が贈呈されました

平成30年7月豪雨災害の被災を見舞うため、9月3日に三津浜花火大会実行委員会から本市に義援金が贈呈されました。松山港まつり振興会の山内一典事務局長は「港まつりで集まった義援金を被災された方の支援に充ててください」と語り、野志市長は「必ず被災された人たちのために役立てます」と話しました。



【来庁などにより贈呈いただいた団体】(敬称略) 義援金えひめアートトラック友の会▼松山港まつり振興会▼松山市スポーツ推進委員協議会▼HOOST CUP KINGS EHIME実行委員会

【寄附金】一般社団法人日本野球機構▼愛和電設株式会社▼愛媛防災株式会社 その他多くの方からお寄せいただきました(平成30年8月28日～9月7日分) 〇市民参画まちづくり課 ☎948-6814・FAX 934-3157

来年の道後温泉本館 保存修理工事開始を墓前に報告

命日の9月4日の予定を、台風21号のため6日に改めて、野志市長が道後温泉本館の生みの親である道後湯之町の初代町長・伊佐庭如矢の墓参りをしました。



墓前で手を合わせる野志市長

伊佐庭如矢は、道後温泉を日本一の観光地にしようと「百年先も他所が真似できないようなものをつくってこそ、はじめてそれが物を言うことになる」という強い気持ちを持ち、まちづくりに尽力しました。野志市長は、来年の道後温泉本館保存修理工事を迎えることで、道後をさらに発展させることを墓前に報告し、手を合わせました。 〇道後温泉事務所 ☎921-6464・FAX 934-3415

株式会社フジから 高規格救急自動車 が寄贈されました

2017年度に創業50周年の節目を迎えた株式会社フジから地域貢献活動の一つとして、本市へ救急車が寄贈されました。フジ藤原店で8月30日に開催された寄贈式では、同社尾崎英雄代表取締役会長兼CEOから野志市長へ車両キーが手渡されました。尾崎会長は「地域の皆さまの暮らしに貢献し、助かる命を助けることに役立ててほしい」とあいさつ。野志市長は「市民の命を守る力添えに感謝したい」と述べました。

寄贈された救急車は、市南消防署東部支署へ配備されています。 〇(消)警防課 ☎926-9220・FAX 926-9188



寄贈された高規格救急自動車

愛媛県石油商業組合から 土のう作製用ペール缶が寄贈されました

9月1日に、県石油商業組合から土のう作製用ペール缶96缶が寄贈されました。この缶を活用することで、豪雨や台風などの風水害での活動に必要な土のうを1人で容易に作製できるため、防災活動を迅速に行うことができるようになります。野志市長は「一つの土のうを2人で作製していたものが1人でできるようになるため、防災対応の活動の幅が広がる」と今後の防災活動に期待を寄せました。

寄贈いただいたペール缶は市内消防団40分に整備します。 〇(消)地域防災課 ☎926-9220・FAX 926-9189



ペール缶を使った土のう作製

松山市で初開催 ジャパンビーチバレーボールツアー 2018松山大会

ジャパンビーチバレーボールツアー第8戦松山大会が、9月1・2日、堀之内の城山公園特設コートで開催されました。

愛媛での開催は2016年、2017年の伊予市開催に続いて3回目ですが、今年松山市で実施。開会式で、野志市長は「ビーチバレーの迫力を浜辺ではなく、国の重要文化財に指定されている松山城を眺めながら観戦できることは、とても魅力的なこと」と話しました。



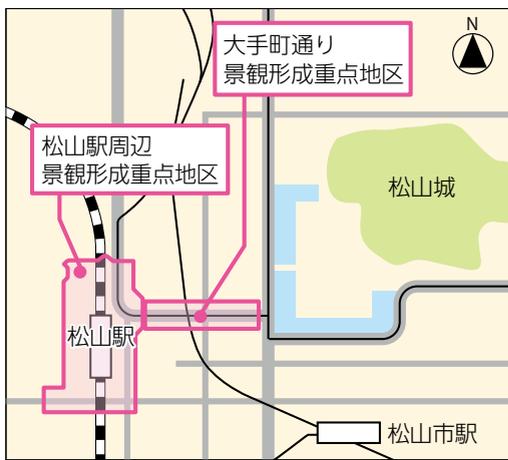
強烈なスパイクで準優勝の庄司・長谷川ペア

大会には、男女各12チーム計48人が出場。愛媛勢は、昨年のえひめ国体男子優勝の庄司憲右・長谷川徳海ペア(県競技力向上対策本部)が、約1年ぶりに組み準優勝しました。女子は村上礼華・坪内紫苑(松山東雲女子大)がそれぞれのペアと出場し、惜しくもグループリーグで敗退しましたが、熱戦を繰り広げる地元選手に、会場では大きな歓声が沸き起こりました。 〇入部インテグシティ推進課 ☎948-6226・FAX 934-287

10月1日から松山駅周辺および大手町通りで 景観計画の適用を開始します

松山市の顔となる都心部の景観の保全・向上のため、松山市景観計画の景観形成重点地区として松山駅周辺および大手町通りを新たに指定し、必要な方針や基準を定めました。

今回新たに追加した松山駅周辺および大手町通り景観形成重点地区で建築などを行う場合、30日前までに景観法に基づく届け出が必要になります。建築などの際には、計画に定められた景観形成基準に適合するように施工してください。



松山駅周辺および大手町通り 景観形成重点地区

〇都市デザイン課 ☎948-6848・FAX 934-1807

第8回 瀬戸内・松山国際写真俳句コンテスト 作品募集

応募作品 日本語・英語自由句部門=お題「海」を写真または俳句で連想させるものを募集▶日本語・英語課題句部門=課題写真に対して、日本語・英語の俳句のみ募集

審査員(順不同) 日本語作品=森村 誠一さん(作家・写真俳句提唱者)、夏井 いつきさん(俳人)など▶英語作品=デビッド・マクマレイさん(国際俳人)

発表 平成31年3月上旬(予定)にコンテスト専用HP <http://matsuyama-haiku.jp/contest/>で発表(入賞者には電話またはeメールで通知)

賞 日本語・英語自由句部門=最優秀賞各1点(賞品3万円相当)など 応募方法 平成31年1月14日(月)祝(必着)。上記ホームページ、または郵送(日本語作品のみ)で作品と応募票(上記ホームページにあり)を〒530-0005大阪府大阪市北区中之島2-3-18中之島フェスティバルタワー18階朝日カルチャーセンター瀬戸内・松山国際写真俳句事務局へ

日本語自由句部門 最優秀賞



子鯨を自由にさせて旅に出る (愛知県 宙のふう)

〇朝日カルチャーセンター瀬戸内・松山国際写真俳句事務局 ☎06-6222-5224(日曜・祝日を除く10~18時)、観光・国際交流課 ☎948-6558・FAX 943-9001